

Q&A

ウエスタミンスター 小教理問答

質問と答えによって説いている

小教理問答 教理 解説書

金洪晩 著



2章

質問 2-3

神を知る方法：聖書

質問 2 私たちが 神の栄光を現し 神を喜ぶために 神が 私たちにくださった基準は何ですか。

答え I 旧・新約聖書の中にある神の御言葉は 私たちが 神の栄光を現し 神を喜ばせるための 方法を教えてくださる 唯一の基準です。

1. 旧・新約聖書が、神の言葉であることを、どのようにして分かりますか。

聖書において、神が語られたことを確かに現しているからです（イザヤ 43:13, ヨハネ 7:46）。聖書は、神の威厳と栄光と聖と命、光を照らしているからです（詩 19:7）。聖書は、聖霊によって記録されましたが（Ⅱペテロ 1:21）聖霊が霊的な理解力を与えてこそ、理解できるようになります（ヨハネ 16:13-14）。聖霊は、聖書を用いて、人々の心に証し、聖書が神のお言葉であることを知るようにさせます（Ⅰヨハネ 2:17）。

2. 聖書が、神の栄光を現し、神を喜ばせる、唯一の基準となる理由はなぜでしょうか。

聖書の著者が神であり、罪によって墮落した人類に、神の栄光を現す方法を教えてくださっているからです（ミカ 6:6-9, マタイ 11:25-28）。その上、自然の光だけでは、贖い主であるキリストを知ることができないので、必ず聖書が必要です（I コリント 2:14）。勿論、人間は聖書以外に他の方法で神を探そうとしますが、それは偶像崇拜になるため、必ず、聖書が必要です（ルカ 16:19、21、イザヤ 8:20, 使徒 4:12）。聖書は、救いのために、必ず知らなければならないことと、信じなければならない内容を、確かに見せてくださるので必要です（詩 119:105、130）。

質問 3 聖書は 主に 何を教えていますか。

答え I 聖書は、人が 神について信じることと 神が、人に求められる義務について おもに 教えています。

1. 聖書は、神について、何を教えていますか。

聖書は、この世において、神について語っている、唯一の書です（ヨハネ 3:3）。聖書を読むことで、神を知る知識を得られます。聖書を通して、神は義であり、慈悲深く、善なる方であることを知ることができます。神を知る知識を得るようになれば、神を探し求め、礼拝しようとする熱望が起こるようになります（I 列王 8:41-42）。

2. 聖書は、救いの方法について、どのように教えていますか。

聖書は、神を知る知識を提供していて、人間は、神を知る知識を得るようになれば、自分が、罪人である事実を知るようになります。自分が罪人であると悟った者は、救われる方法を見つけるために聖書を調べるようになります（使徒 17:11）なぜなら聖書において、罪人が救われる方法を、神は啓示しておられるからです（Ⅱコリント 7:10-11）。

3. 聖書は、神の民の義務について、どのように教えていますか。

聖書は、信仰の原理について啓示していて、信仰が発生されているなら、必ず、義務に対する従順があると語っています（テトス 3:8）。従って、聖書に啓示されている戒めと、神の御心に従順しようと努力するようになり、神に対する愛と、救いに対する感謝によって、戒めを守ろうと労するようになります（出 20:2, 1 ヨハネ 5:1-3）。勿論、新生していない人々は、戒めを守って救われようとするでしょうが、その者は、自分自身の霊的無能さを分かっていない状態です。自然的な力と能力によって、戒めを完全に守ることができないし、また、救いを全うすることもできません（ロマ 3:19）。

4. 私たちが、最初に信じるべき、真理は何ですか。

神がおられるということです（Ⅰコリント 8:6）。これは、自然的理性によって知ることができます（ロマ 1:20）。すべての人類は、創造と神の摂理によって、神がおられることを分かります（詩 100:3, ヘブル 1:3）。神は、すべてを造り、また、それを捕らえています。どのような人生も、自分を母体から造ることができず（詩 139:15-16）自分の髪の毛の色すらも決められないのです（マタイ 6:27）。神の創造と摂理を通して、神がおられることを知ることができます。

5. 聖書の真理を通して、神について、何を知ることができるでしょうか。

聖書の真理を通して、そして、聖霊の御業によって、霊魂は、神に対する知識と神の完全さについて知ることができます（ヨハネ 5:39, II ペテロ 1:19, ロマ 15:4）。神に対する知識は、贖い主・神であるキリストを含めています（ヨハネ 1:18）。創造主・神については自然を通してある程度は分かりますが、贖い主・神については、ただ、聖書を通してだけ知ることができます。

6. 神は、聖書において、ご自身をどのように説明なさっていますか。

神は光であり（I ヨハネ 1:5）、愛であり（I ヨハネ 4:8、16）、霊であります（ヨハネ 4:24）。神が光であるとは、無限なる純粋性と、すべてことをご御存じである（全知）ことを意味します（ハバクク 1:13, ヘブル 4:13）。愛であるというならば、救いのためにキリストを惜しみなく差し出してくださったところから示されます（ヨハネ 3:16）。霊であるというのは、肉体的な体を持っておらず、生きておられ、知的存在だということを現します（ルカ 24:39）。従って、神に対して形を作ったり、幻的に表現することはしてはならず（申 4:12、15）神に対する（救いの）知識の中で礼拝すべきです（エレミヤ 24:7）。